

平成28年度 事業計画書

平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 多摩胃ろうネットワーク

1. mamoserバーを使用した多摩胃ろうネットワークITシステム(TPÑ-mano みまもりシステム)在宅療養支援への実用化を目指す。

2015年度に胃ろうと摂食嚥下に特化して対象を決めパイロットスタディーを実施し2016年度は運用開始の見込みとなりました。今後は在宅療養支援への実用化を図る。

※詳細は、専用ホームページ <http://www.tama-irount.com/>を参照。

2. 胃ろう・摂食嚥下障害・高齢者の栄養に関する市民公開講座を開催する。

多摩地区・八王子地区において市民公開講座を開催する

一般市民対象の市民公開講座を開催しエリア内に胃ろうの知識とケア能力の向上、摂食栄養管理の質の向上を図り、在宅療養者・ご家族および、高齢者とそのご家族を中心に地域住民の皆様と情報共有を図る。

会員施設のみでなく賛助企業や歯科医師会との連携を強化し、NST活動も加えて、広く在宅医療関係者との知識と技術の共有を目指す。

また、これに伴う関係者会議を開催し、顔の見える人間関係を構築します。

3. 昨年に引き続き、厚生労働科学研究費補助金長寿・障害総合研究事業「高齢者の摂食、栄養に関する地域包括的ケアについての研究」多摩地区のマップ作成に参加し、市民公開講座にて地域住民に情報提供し普及啓発の一助とする。

4. 在宅(往診)胃ろう交換の取り組みを継続する

平成24年度より多摩胃ろうネットワークでも一部の医師によりペグスコープを用いた往診による在宅での胃ろう交換の試行を開始した。在宅での胃ろう交換が可能となることで、交換のために医療機関を受診するという患者の身体的・時間的負担 及び介護者・家族の人的負担や移動費用、及び医療機関のマンパワーなど多くの負担軽減につながる事が示唆されている。今後も医師間の意見交換などにより一層、安全な在宅胃ろう交換の推進を目指す。

5. ホームページ活用により情報共有と胃ろうと摂食嚥下障害の正しい知識の普及啓発を継続する。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
胃ろう造設と管理に関する事業	在宅胃ろう交換の普及・啓発事業 胃ろうの基礎知識と造設(手技)交換並びに術前術後の管理レベルアップ	多摩胃ろうネットワーク市民公開講座 2017年10月予定	多摩市立関戸公民館大会議室予定	6人	40人一般市民 ケアマネジャー・歯科衛生士 介護職・看護師 栄養士・薬剤師 言語聴覚士・	0
	在宅胃ろう交換の普及啓発	適宜	参加医師との情報共有 於;参加施設	実施6施設と地域の関係者		
摂食嚥下に関する事業	摂食嚥下評価に関するセミナー開催により	多摩胃ろうネットワーク市民公開講座 2016年8月予定	歯科との連携によりペグスコープを用いた嚥下評価のセミナー開催	6人	50人一般市民 ケアマネジャー・歯科衛生士 介護職・看護師 栄養士・薬剤師 言語聴覚士・	0
地域連携に関する事業	『TPN-manoみまもりシステム』実用化に向けて (胃ろうと摂食嚥下および高齢者とその家族を中心に関係者間の情報共有を基本とした在宅療養支援の実用化を図る)	事務局会議を毎月開催し意見交換 関係施設へ普及啓発活動を実施;主にヘルパーステーションを対象とする	新天本病院会議室 各施設へ出向する	10人	60人 同上 ワンダーワークスK.K との共同事業システム参加に同意された患者家族	
	平成26年度厚生労働科学研究費補助金長寿・障害総合研究事業「高齢者の摂食、栄養に関する地域包括的ケアについての研究」多摩地区のマップ作成に参加する	市民公開講座開催等の準備会議にて情報共有する 歯科医会と連携し、2017年2月に事業報告を市民公開講座にて予定	新天本病院会議室			
	開設するポータルサイトに管理ページを設けメーカーに貸与 メーカーが持つ商品情報や栄養管理データなどの情報提供及びPR	随時	HPサイト内	3人	ホームページ閲覧者 年間4000件から10000件 賛助企業	
	栄養剤メーカーのサンプリングや新規栄養剤情報の共有	関係会議において賛助企業による栄養剤情報の共有 随時	新天本病院	10人	会員施設よりの参加者 賛助企業	